

L-56 大気圧タンク底板腐食（内面）

大気圧タンクの底板（炭素鋼）の腐食は、内面（製品側）と外面（土壌側）の腐食に分けられる。外面側腐食は、土壌腐食（T-23）として扱われる。

内面腐食は、貯蔵される製品の腐食性、温度、水分の存在、スチームトレースの効果などに依存し、全面腐食の場合と局部腐食の場合がある。

- ・ 腐食速度は、66℃から 121℃でピークとなり常温での腐食速度の 1.3 倍程度となる。
- ・ スチームトレースの存在で温度上昇のために、腐食速度は上昇する。
- ・ 製品の脱水処理がなされている場合、0.7 倍程度腐食速度が減少する。